

|           |          |            |          |
|-----------|----------|------------|----------|
| 疾患の治療と看護Ⅵ | 2 年・前期   | 1 単位 15 時間 | 教授 本吉美也子 |
| 科目カテゴリー   | 看護の対象の理解 | 科目ナンバリング   | 32210352 |

### 1. 授業のねらい・概要

疾患の治療と看護Ⅵでは学生が、「代謝」と「内分泌」疾患の治療と看護の知識を習得し、これらの疾患患者に対して根拠に基づいた看護を実践できる能力を養うことを目的とする。

### 2. 学修の到達目標

1. 糖尿病, 脂質異常症, 尿酸代謝異常の病態生理, 症状, 検査, 治療を説明できる。(D-2)
2. 糖尿病患者に対する適切な生活指導について説明できる。(D-2)
3. 下垂体の内分泌疾患(プロラクチン・成長ホルモン・ACTH 産生腫瘍, 成長ホルモン分泌不全症)の病態生理, 症状, 検査, 治療を説明できる。(D-2)
4. 甲状腺疾患(バセドウ病・橋本病・甲状腺腫瘍・破壊性甲状腺炎)の病態生理, 症状, 検査, 治療を説明できる。(D-2)
5. 副甲状腺疾患, 副腎皮質疾患(原発性アルドステロン症・クッシング症候群・アジソン病), 副腎髄質疾患(褐色細胞腫)の病態生理, 症状, 検査, 治療を説明できる。(D-2)
6. 内分泌疾患患者に対する適切・的確な看護を説明できる。(D-2)

### 3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進める。

#### 【アクティブラーニング実施の有無】

アクティブラーニングとして授業前の小テストをおこなう。

#### 【ICT 活用の有無】

ICT 活用の実施: Googleclassroom, Gmail 等による学習課題の提示・解説。

### 4. 授業計画 (講義)

| 回 | 授業内容                                        | 授業形態 | 事前事後学修 (学修課題)                                                                     | 担当    |
|---|---------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1 | 代謝疾患:<br>糖尿病の病態と治療 (P132～147)               | 講義   | 予習: 代謝の概要と機能についてテキストを読んでおく。(p41～45)<br>復習: 糖尿病の主な治療方法をまとめる。                       | 本吉美也子 |
| 2 | 代謝疾患:<br>糖尿病の合併症 (P147～163)                 | 講義   | 予習: 糖尿病の慢性合併症とは何かを調べる。<br>復習: 糖尿病の急性合併症への対処方法をまとめる。                               | 本吉    |
| 3 | 代謝疾患:<br>脂質異常症、尿酸代謝異常 (P163～186)            | 講義   | 予習: 脂質管理目標値となる血液検査項目を調べる。<br>復習: 脂質異常症、尿酸代謝異常の主な治療方法をまとめる。                        | 本吉    |
| 4 | 代謝疾患患者の看護:<br>糖尿病患者の看護 (P238～271)           | 講義   | 予習: P240～241 を読み高血糖に伴う身体症状について確認しておく。<br>復習: 授業中に解答した国家試験問題を復習する。                 | 本吉    |
| 5 | 内分泌疾患:<br>視床下部・下垂体前・後葉疾患の病態と治療 (P82～98)     | 講義   | 予習: 代表的なホルモンとそのはたらきについてテキストを読んでおく。(p21～18)<br>復習: 代表的な内分泌疾患の特徴的な症状をまとめる。          | 本吉    |
| 6 | 内分泌疾患:<br>甲状腺・副甲状腺・副腎疾患の病態と治療 (P99～113)     | 講義   | 予習: 甲状腺・副甲状腺・副腎の構造と機能についてテキストを読んでおく。(p21～22)<br>復習: 代表的な甲状腺・副甲状腺・副腎疾患の特徴的な症状をまとめる | 本吉    |
| 7 | 内分泌疾患患者の看護:<br>甲状腺・副甲状腺機能障害患者の看護 (P209～237) | 講義   | 予習: バセドウ病患者の看護の事例を読んでおく。(p228～295)。<br>復習: 甲状腺機能障害患者への看護をまとめ                      | 本吉    |

|   |                                   |          |                                                                            |    |
|---|-----------------------------------|----------|----------------------------------------------------------------------------|----|
|   |                                   |          | る。                                                                         |    |
| 8 | 内分泌疾患患者の看護：<br>学習ポイントのまとめ<br>定期試験 | 講義<br>試験 | 予習：P210～211 を読み甲状腺機能亢進症の<br>セルフチェック項目を確認しておく。<br>復習：定期試験で間違ったところを復習す<br>る。 | 本吉 |

## 5. 成績評価の方法・基準

予習内容の小テストを各授業冒頭に行う（2点 x 8回 = 16点）。

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）の配点は84点。

小テストの総合点と定期試験の点数の合計で成績を評価する。定期試験の出題範囲は授業で取り扱った内容全てとする。

合格基準（60％）に満たない場合には、単位認定できない。評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、4段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：吉岡成人 他（2025） 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[6]内分泌・代謝 第16版  
医学書院

## 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および事前事後学修（学修課題）について、最低90分の予習および復習を行うこと。

## 8. 受講上の留意事項

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、許可の無い教室の出入り、授業に関係ない言動は慎むこと。

受講前、受講後も必要に応じて人体の構造と機能Ⅲ・Ⅳ、病理学、臨床検査学の復習をすること。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

小テストの解説は講義内で行う。試験の結果と解答については後日掲示または Googleclassroom・Gmail を用いて解説する。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

## 11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。